



# ぎかい

# 懸かけはし橋 だより



目  
次

- 3月定例会(令和3年度一般会計予算等)…………… P 2
- 3月定例会(予算特別委員会：主な質疑) …… P 4
- 3月定例会(当初予算の主な事業内容) …… P 6
- 3月定例会(3月補正予算、主な質疑)…………… P 7
- 総務文教常任委員会、産業民生常任委員会 …… P 8
- ここが聞きたい一般質問(6名) …… P 9
- 全員協議会(事務事業評価:スズメ蜂の巣駆除)…… P 16

「コロナ禍における  
静かな花見」

～ いちょう公園にて～

(写真提供：柳田 裕介 様)



# 一般会計予算額 99億2,500万円

前年度、101億7,470万円より2億4,970万円の減

## 今年度の主な事業

- ▶ 甲洋・下田小学校区子育て世代定住助成金の創設
- ▶ 第8期介護保険事業計画により介護保険料の基準額を減額
- ▶ 新型コロナウイルスワクチンの接種対応
- ▶ 木ノ下中学校講堂改築工事実施設計業務委託
- ▶ 小中学校空調設備工事実施設計委託
- ▶ 農業振興地域整備計画の全体見直し  
(豊原地域の農用地区域一部除外)
- ▶ 都市計画見直し  
(現行：八戸都市計画→見直し後：おいらせ都市計画)
- ▶ 老人福祉センター・福祉プラザの塗装工事

一般会計

令和3年度  
予算

令和3年度

一般会計予算

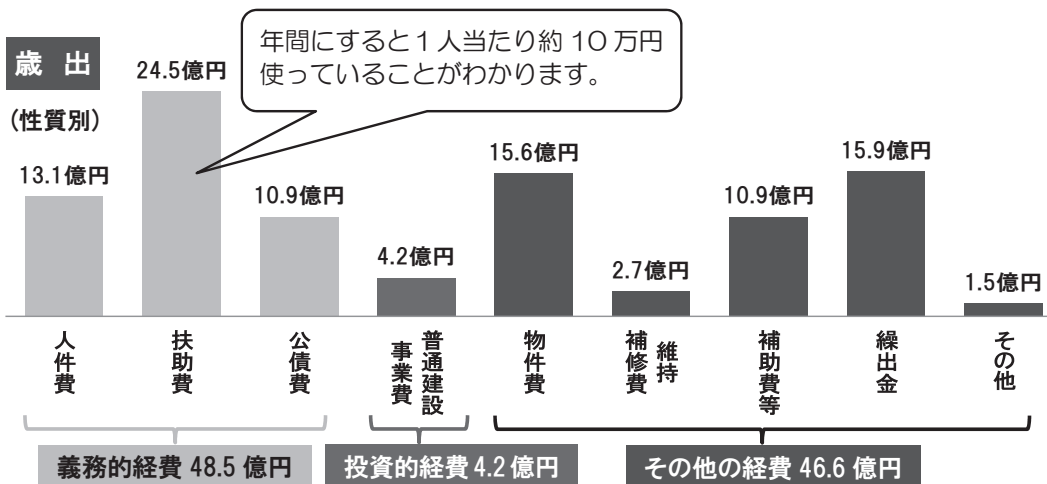
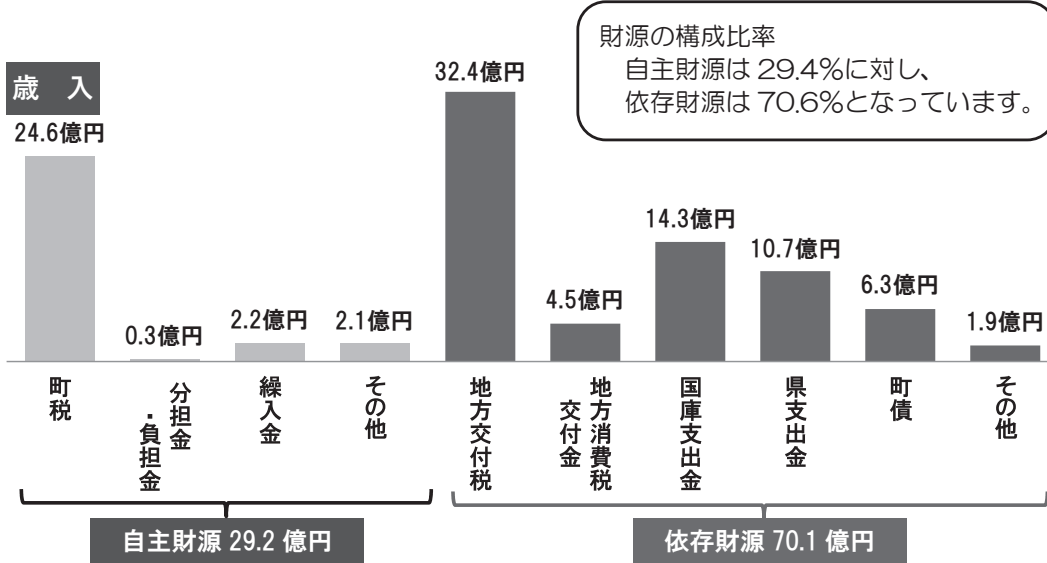
## 所信表明

令和3年度  
町政運営方針  
成田町長

持続可能な  
行財政運営の  
実現

コロナ禍の困難な時代でも  
明るく希望ある未来に向け  
課題を克服する決意

## 一般会計歳入・歳出決算



※四捨五入の関係上、金額が一致しない場合があります。

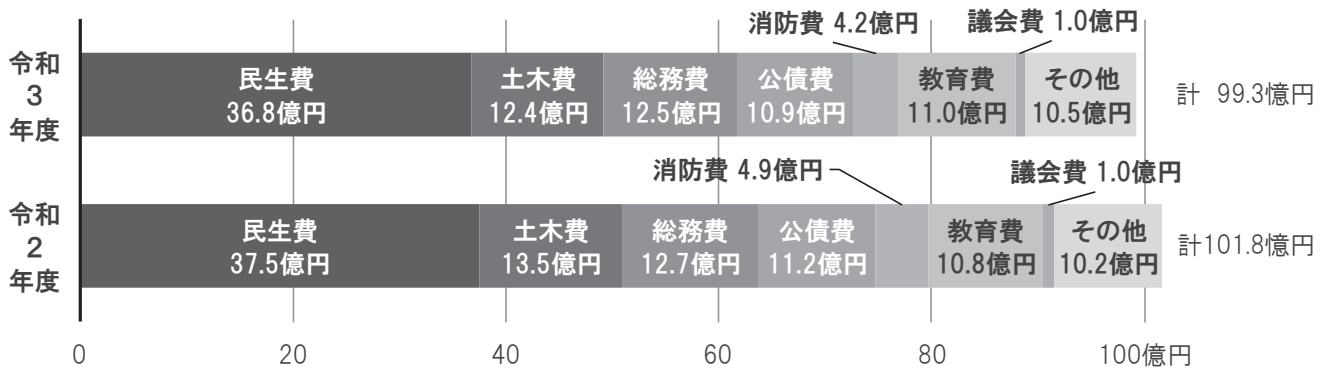
令和3年第1回定例会は、3月4日から12日までの9日間の会期で開かれました。

除雪作業委託料の増額に伴う専決処分の承認や、固定資産評価審査委員会委員の選任の同意、甲洋・下田小学校区子育て世代定住助成金交付条例の制定、都市計画区域の指定に伴う関係条例の制定、町八丁トピア基金条例の一部改正、令和2年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、議案41件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

また、令和3年度一般会計や特別会計などの歳入歳出予算議案8件は予算特別委員会を設置し、集中審査の結果、原案のとおり可決しました。

令和3年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、議案41件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

### ▼一般会計 歳出予算編成グラフ (目的別)



### ▼特別会計・企業会計予算 ※四捨五入の関係上、差引増減額が一致しない場合があります。

予算額	令和3年度	令和2年度	差引増減	うち、一般会計からの繰入金
国民健康保険	24億8,187万円	25億3,195万円	▲5,007万円	2億2,680万円
奨学資金貸付事業	1,791万円	1,680万円	111万円	155万円
公共下水道事業	10億5,057万円	10億4,945万円	112万円	6億3,274万円
農業集落排水事業	1億4,283万円	1億3,132万円	1,151万円	6,362万円
介護保険	23億5,457万円	23億1,598万円	3,858万円	4億661万円
後期高齢者医療	2億2,217万円	2億1,293万円	924万円	7,435万円
病院事業(収益的収支)	10億709万円	10億416万円	293万円	1億4,317万円

## 人事案件

### 人権擁護委員

#### 【諮問第1号】

任期満了に伴い、引き続き人権擁護委員候補者として適任としました。



さいとう はるみ  
齊藤 晴美氏  
(二川目)

任期は令和3年7月1日から3年間となります。

### 町固定資産評価審査委員会委員

#### 【議案第1号】第3号

任期満了に伴い、引き続き3名の町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。



やち たけし  
谷地 武氏  
(七軒町)



たまかわ よしかず  
玉川 吉一氏  
(木ノ下)



たねいち いわお  
種市 岩男氏  
(新敷)

任期は令和3年5月13日から3年間となります。



**自主財源**：町税など町が独自に収入できる財源

**依存財源**：町以外の国や県など、法律・基準により決定され、町に分配・交付されるお金

**扶助費**：児童手当や乳幼児・高齢者・重度心身障害者の医療費に使う経費

**公債費**：町が借り入れたお金の返済に充てる経費

**ことばのヒント！** 普通建設：学校や道路などの資産の形成に向けられて、財産として将来に残るものに対して  
事業費 支出される経費

# 令和3年度予算特別委員会 ー主な質疑ー

令和3年度一般会計予算及び各特別会計・病院事業会計予算案は、議長を含む全議員をもって構成した予算特別委員会（西館芳信委員長、澤上訓副委員長）で審査しました。

町政全般にわたり、多くの質疑がありました。紙面ではその一部をご紹介します。

**再質問** 前回のいちようマラソン大会の町民の参加者数は、

**答** いちようマラソン大会は規模を縮小し、町民限定で行う予定。

教育委員会表彰授与式の高校生以下の表彰も実施する方向で考えていたが、やむを得ず断念した。理由は、PCR検査まで実施した小・中学生が意外と多かったこと、保護者も濃厚接触者となったケースもあったため。さらに受験や卒業式を控えていることも含め総合的に判断し、一堂に集めての表彰を断念した。ただし、各学校での表彰をお願いした。

なお、一般の方は表彰する場がないため、表彰式を実施した。次年度は、感染状況を見ながら実施したいと考えている。

**再質問** 前回のいちようマラソン大会の町民の参加者数は、

**答** また、今年のいちようマラソン大会に向けての感染症対策は、

表彰式は子どもにとって1年間努力した結果が詰まっており、大変貴重な場面である。2回に分けてでも実施して頂きたい。

**再質問** 前回のいちようマラソン大会の町民の参加者は230人。コロナ対策は、問診票による健康チェック、体温測定、三密を避ける対策等を講じる。

**答** 表彰式は、議員ご提案も含めて検討したい。



▲平成30年度教育委員会表彰授与式の様子

▲平成30年度いちようマラソン大会の様子

**下** 水道整備工事費1500万円と下水道更新工事費約1700万円の事業内容は、

**答** 下水道整備工事費は、新築住宅汚水処理の設置工事の30か所を積算。

下水道更新工事費は高田のマンホールポンプ制御盤工事の700万円、深沢のマンホールポンプ交換費用の約900万円弱と既存のマンホールの蓋の更新費用を見込んでいる。

**再質問** 北部地区を含む新たな公共下水道工事はないと考えてよいのか。

**答** 現在の更新を維持する費用だけで、新たな公共下水道工事は考えていない。



▲町の鮭デザインのマンホール

**後** 期高齢者医療保険の病院に支払う自己負担割合は現在1割負担と3割負担の方がいる。3割負担の方と、今後2割負担とする新聞報道について教えて頂きたい。

**答** 現在、75歳以上の後期高齢者が医療機関で支払う窓口負担は1割、現役並の所得があれば3割となっている。

町に詳細な情報が入ってきておらず不明だが新聞報道によれば、単身で年収200万円以上、複数人世帯で75歳以上の年収が320万円以上あれば2割負担に引き上げるとされ、令和4年度後半から導入されるようである。町には、国会での決定後に通知されると思われる。

**再質問** 当町で3割負担は何人か。

**答** 現在75歳以上の方は約3000人いるが、そのうち現役並の所得の方は3%の約100人が3割負担となっている。

75歳以上の窓口負担		年収200万円	年収約383万円
見直し後	1割負担	2割	3割
現在	1割負担		3割

75歳以上の医療費：令和4年度後半から単身者の場合、年収200万円以上で2割負担に引上げ

**奨学資金と修学資金貸付金の違いは。**  
(馬場正治)

**答** 一般的に「修学資金」は、卒業後に病院へ一定期間を勤務することにより返済が不要となるもの。「奨学資金」は、進学するための費用として貸付し、その後、返済が生じるもの。

**修学資金の貸付者2人となっているが、町外の方も貸付条件は同じか。**  
(平野敏彦)

**答** 貸付条件は同じである。

**コロナ禍で奨学資金の返済が難しいという声を聞いている。制度化し、期間延長する考えは。**  
(平野敏彦)

**答** その都度事情を考慮し、分納または期間の延長等、個別対応している。遠方の方は、書類を郵送で行い対応している。



◀ おいらせ町の条例から

**奨学資金とは**

一般的に高校や大学、専修学校などに進学するための費用として貸し出されるもので、家庭における収入面の制限があるが、使途は特段の制限はない。

**修学資金とは**

主に特定の学校への入学、卒業のために貸し出されるお金に対し、卒業後、就職先によっては返済が不要になる場合があるのが特徴。

町奨学資金貸与条例	町医師修学資金貸与条例	
町内に住所を有する者の子弟で、心身が健全かつ生計上の事由により就学困難な者に対しおいらせ町奨学資金を貸与し、有用な人材を育成する。	医学を専攻する者で、将来国民健康保険おいらせ病院に医師として勤務しようとするものに対し、修学に必要な資金を貸与し、医師の充足を図る。	<b>目的</b>
奨学資金の貸与を受けることができる者は、1年以上町内に住所を有する者の子弟であって高等学校以上の学校に在学する者。	学校教育法による大学の医学を履修する課程に在学する者で、将来病院に医師として勤務しようとするものに対し、修学資金を無利息で貸与する旨の契約を結ぶことができる。	<b>資格</b>
奨学資金は、貸与終了の月の1年後から10年以内の期間にその金額を月賦、半年賦又は年賦で返還。	修学資金の返還債務は、被貸与者が病院に医師として勤務した場合において、その勤務期間が、通算して2年以上であり、かつ、修学資金の貸与を受けた期間に達したときは、その全部を免除する。	<b>返済</b>

**カーブミラー設置の要望方法は。**  
(平野敏彦)

**答** 町内会からの要望や地域住民からの直接要望、また町民の声等で要望が来る場合もある。要望があれば現地確認をし、交通安全対策上、必要かどうかを判断したうえで対応する。



**聖火リレーに関する当町の具体的な内容は。**  
(澤上勝)

**答** 6月11日金曜日午後3時頃に百石高校のグラウンドで出発式を行い、木内々小学校のグラウンドまでの2.5kmの区間と決定している。ただし、コロナ対策により、グラウンド内への一般客の入場や沿道での応援は協議中ではあるが、やや厳しい状況。
















**再質問** 聖火ランナーは、おいらせ町民の他、外部有名人が来るのか。

**答** 当町を走る聖火ランナーは、まだ公表されていない。



可決  
しました

# 令和3年度一般会計 当初予算 の主な事業内容

<p>甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金</p> <p>両地区の人口減少及び 少子高齢化対策費</p> <p>予算額 720万円</p> 	<p>障害者福祉サービス 介護給付費等事業</p> <p>居宅・生活・施設入所支援 児童発達支援・デイサービス等</p> <p>予算額 5億2,908万円</p> 	<p>老人福祉センター・福祉プラザ 長寿命化対策</p> <p>老朽化に伴う 塗装工事費等</p> <p>予算額 4,111万円</p> 	<p>乳幼児医療給付費 子ども医療助成費</p> <p>0歳～中学生までの一部 負担の医療費を町が負担</p> <p>予算額 8,763万円</p> 
<p>子どものための 教育・保育給付費</p> <p>保育提供施設への 資金給付</p> <p>予算額 13億478万円</p> 	<p>新型コロナウイルス ワクチン接種事業</p> <p>ワクチン接種に関する コールセンター等委託料</p> <p>予算額 2,000万円</p> 	<p>上谷地地区 農道保全対策事業</p> <p>令和4年度事業採択に向 けた調査計画業務委託料</p> <p>予算額 650万円</p> 	<p>水産多面的機能発揮 対策事業費負担金</p> <p>水産資源確保のため漁場 の海底耕うん等</p> <p>予算額 150万円</p> 
<p>道路橋りょう費</p> <p>町道維持補修、住吉町線 土地購入・立木補償費、 町道整備工事費</p> <p>予算額 2億5,193万円</p> 	<p>除雪作業委託料</p> <p>除雪・融雪剤散布・町内 会歩道除雪・除雪車運転 等の業務委託料</p> <p>予算額 9,000万円</p> 	<p>立地適正化計画策定 業務委託料</p> <p>都市機能誘導区域等の 基礎調査を実施</p> <p>予算額 570万円</p> 	<p>公園管理費</p> <p>下田公園、いちよう公園 等の植栽管理等委託料</p> <p>予算額 5,530万円</p> 
<p>八戸地域広域市町村圏 事務組合消防費負担金</p> <p>一部事務組合への常備消 防負担金</p> <p>予算額 3億2,743万円</p> 	<p>消防施設費</p> <p>百石第6分団(川口)拠点 施設塗装工事費</p> <p>予算額 175万円</p> 	<p>津波浸水想定区域等 検討業務委託料</p> <p>町ハザードマップ見直し に向けた町内浸水域調査</p> <p>予算額 180万円</p> 	<p>小・中学校普通教室 エアコン設置設計業務</p> <p>小中学校普通教室エアコ ン設置設計業務委託</p> <p>予算額 2,476万円</p> 
<p>木ノ下中学校講堂 改築工事実施設計委託料</p> <p>講堂改築に係る設計委託</p> <p>予算額 4,300万円</p> 	<p>みなくる館等 指定管理者委託料</p> <p>みなくる館、図書館、大山 将棋記念館の指定管理料</p> <p>予算額 6,678万円</p> 	<p>学校給食運営費</p> <p>給食食材費、調理業務委託 料、給食配送・配膳委託料</p> <p>予算額 2億1,679万円</p> 	<p>公債費</p> <p>町債償還元金、 町債償還利子等</p> <p>予算額 10億8,953万円</p> <p>国等から借入れた 元金と利子の返済</p> 

\*千円の位を四捨五入しています。

令和3年度

一般会計当初予算

主な事業内容

# 3月補正予算



## 一般会計(第8,9,10号)

歳入の主な内容		補正予算額	歳出の主な内容		補正予算額
第8号	財政調整基金の取り崩し	6,000万円	除雪対策費(除雪作業委託料)		6,000万円
第9号	財政調整基金の取り崩し	4,118万円	除雪対策費(除雪作業委託料)		4,000万円
第10号	新型コロナウイルスワクチン接種補助金	1,706万円	新型コロナウイルスワクチン接種事業費		1,706万円

## 一般会計(第11号)

既定予算の総額から2億3,931万円を減額 予算総額は、136億9,496万円		歳出の主な内容		補正予算額	
歳入の主な内容		補正予算額	舗装維持管理計画更新業務委託料		1,200万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		2億9,913万円	鶉久保・薬師線舗装補修工事		2,545万円
			小学校トイレ洋式化工事費等		4,892万円

## 一般会計(第12号)

繰越明許費の補正：令和2年度予算の新型コロナウイルスワクチン接種事業費のうち877万円を翌年度に繰越する予算補正

## 特別会計

特別会計	補正予算額	補正後予算総額	歳出の主な内容
国民健康保険(第5号)	▲1,006万円	25億4,441万円	出産育児一時金支給見込額精査
奨学資金貸付事業(第2号)	429万円	1,972万円	奨学基金積立金
公共下水道事業(第3号)	▲1,165万円	10億3,813万円	下水道更新工事費事業確定
農業集落排水事業(第2号)	▲888万円	1億2,365万円	農排水更新工事費事業確定
介護保険(第4号)	▲7,727万円	23億2,182万円	給付費見込額精査、基金積立金差額調整
後期高齢者医療(第2号)	▲733万円	2億2,592万円	共通経費負担金、保険料負担金の見込額精査
病院事業(第5号)収益	▲793万円	10億2,723万円	入院・外来収益の見込額精査

※千円の位を四捨五入しています。

## 主な質疑



【議案第21号】令和2年度町一般会計補正予算(第11号)

問 松林義光議員 木ノ下小学校は既に洋式トイレとなっているが、残りの4小学校は、6~7割の洋式化とはどういうことか。

答 衛生上の理由から和式トイレを希望する児童・生徒もいるため、例えば、3つのトイレがあれば1つを和式、残りの2つを洋式とするため、6~7割の洋式化となる。

なお、3中学校は既に洋式化となっている。

【議案第23号】令和2年度町奨学資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)

問 平野敏彦議員 コロナ禍で大学生等の生活が厳しいと聞く。国の第3次補正を使い、町の奨学資金貸付者を対象とした、新たな学生支援策を講じる考えはないか。

答 来年度、奨学資金貸付者の大学生の募集枠を増やし対応する。また、国では学生支援給付金を実施し給付を行っているため、それらを考慮し、今後の支援策を検討する。

【議案第26号】令和2年度町介護保険特別会計補正予算(第4号)

問 澤上勝議員 介護認定の流れと認定までの期間は、また、申請中にトイレ等の改修工事は可能か。

答【介護認定の流れ】

- ①介護福祉課に相談→必要と判断されたら申請
  - ②認定調査員が自宅等訪問し、体調や住環境等を調査  
かかりつけ医から医師の意見書をもらう
  - ③②を基に介護認定審査会で審査し判定を行う
  - ④ケアマネジャー等が計画を作成しサービス開始
- ・認定までの期間は約1か月程度を要する。
  - ・状況に応じて申請中に介護サービスの暫定利用は可能だが、改修工事等は介護認定決定後となる。

【議案第28号】令和2年度町病院事業会計補正予算(第5号)

問 田中正一議員 器材備品購入費461万円の補正予算計上をしているが、眼科の患者数は。

答 眼科は2月からこれまでで3回の診療(午後のみ)で81人が受診。眼科の入院患者は2人。最も効果が得られたと感じたのは、81人中30人(37%)がおいらせ病院を利用したことがない新規患者だった。このような広がりが経営にプラスになっていければと考えている。

令和3年1月12日（火）午前10時～

【出席委員】平野敏彦、澤上勝、松林義光、澤頭好孝、沼端務、田中正一、佐々木勝 【欠席委員】西館秀雄

### ▶案件1 学校給食調理等業務委託

【概要】学校給食調理等業務委託が令和2年度末で契約終了。令和3年度からの委託業者を公募型プロポーザルを実施し、審査委員会で決定した。

優先交渉権者は、(株)東洋食品。

3年間の委託総額は1億9,574万円（税込）。

問 澤上勝委員 指名願いは何社か。

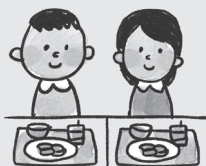
答 学校調理業務の指名願いは16社あったが、応募したのは1社のみだった。1社であってもプロポーザルにより安全性や衛生管理調理業務の対応状況等を点数化し評価した結果、基準を大きく上回った。

問 佐々木勝委員 審査委員会のメンバーは。

答 校長会推薦の学校長、養護教諭、連合PTA、教育委員、給食センターの栄養教諭等、三八県民局の福祉部衛生課長、町財政管財課長と学務課長の計10人。

問 沼端務委員 業者選定したメリットは。

答 危機管理の対応が早い。給食アンケートでは90%が美味しいとの高評価を得ている。また、食育活動でも協力を頂いている。



### ▶案件2 (仮称) 甲洋・下田小学校区子育て世代定住助成金の創設

【概要】町定住促進助成事業は今年度末で終了。

全員協議会等で甲洋・下田小学校区だけは、定住助成すべきとの意見をを受けて検討した。

両小学校の児童数は5年以内に100人を割る見込み。地域に子どもがいなくなると学校存続の危機及び地域衰退を招く恐れがある。

地域の活力を維持し、町の均衡ある発展を図るため両地区に特別な支援策として助成する。



問 佐々木勝委員 この助成事業だけでは、人口が増加すると思えない。都市計画等により、他課と連携し、居住環境整備が必要と考えるが。

答 ご指摘のとおり。様々な政策を複合的に実施することで相乗効果が出るものと認識している。地元の意見を聴取する機会を設け、反映していきたい。

問 田中正一委員 本村地区に住み、郷土芸能をやらせたいと言う声もある。都市計画の見直しもあるが、町は下田小学校区をどのように考えているか。

答 各地区に魅力的な活動が様々ある。ホームページ等でPRしながら移住・定住に繋げていきたい。

令和3年3月2日（火）午前10時～

【出席委員】西館芳信、澤上訓、榎山忠、馬場正治、日野口和子、木村忠一 【欠席委員】柏崎利信、吉村敏文

### ▶案件1 令和3年度生活関連道路整備計画

【概要】

1. 町道整備事業（単独：5,000万円）
2. 町道舗装補修事業（補助・事業債：5,512万円）
3. 町道維持補修工事（8,000万円）
4. 道路新設改良総務事業（1億2,282万円）

問 榎山忠委員 曙線の地盤が弱いが、対策は。

答 3.11の地震の際に下水道管の破損が生じたが、今回の工事は、路盤も入れて対策する。地震による下水道管の破損対策は掘らなければ分からないので、その都度対応する。

問 澤上訓委員 現在の根岸と藤ヶ森の側溝は簡易なものだが、今回の工事ではどうか。

答 現在は、幅240ミリの蓋なし側溝が敷設されているものを、幅300ミリの蓋付側溝に改修する予定。



▲現在の藤ヶ森の側溝

### ▶案件2 国及び県管理施設整備要望

【概要】主な整備状況は次のとおり

- ・二川目歩道拡幅工事：今年度一部区間（約800m）完了。来年度は残区間（約800m）の用地買収等を予定。
  - ・浜道歩道拡幅工事：用地補償調査・算定中。来年度から用地買収予定。
  - ・県道柳町下田停車場線（明土地内の路肩拡幅）：今年度完了。
  - ・奥入瀬川河床整理工事：一部完了。
  - ・地震・高潮対策河川事業（下川原地区）：今年度完了。
  - ・明神川河川総合流域防災事業（明神川の拡幅）：沼端1号橋架け替え完了。
- ※国県管理施設整備について、来年度以降も引き続き要望していく。

問 馬場正治委員 木ノ下中学校の生徒の事故現場のカラー舗装と交差点内の外灯の設置を要望する。

答 町通学路安全推進協議会を通じて、県に確認する。

問 榎山忠委員 木内々の踏切から曙団地方面の歩道は、除雪機が通れない幅。長年要望してきたが、早い機会に整備の要望をして頂きたい。

答 県に要望する。



▲木内々踏切から曙団地までの歩道





ここが聞きたい

# 一般質問

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を見直し、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ

(<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>) で閲覧できます。

また、本庁舎議場で傍聴することもできます。

## よりよいまちづくりのために



ページ	議員（質問順）	主な質問項目
10	馬場正治 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通死亡事故再発防止に向け町の取り組みは</li> <li>甲洋および下田小学校の児童数減少対策は</li> <li>スクールバスの運行内容見直しについて問う</li> </ul>
11	平野敏彦 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスワクチンの接種方法は</li> <li>町男女共同参画プランの進捗状況は</li> </ul>
12	木村忠一 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の名称変更は</li> <li>おいらせ病院の移転建設について問う</li> <li>おいらせ病院と庁舎の早期整備について問う</li> </ul>
13	澤上勝 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庁舎整備の進捗状況は</li> <li>多目的ドーム整備事業は</li> <li>児童・生徒の通学路の現状と対応は</li> <li>木ノ下中学校の体育館整備は</li> <li>新型コロナウイルスワクチン接種の対応は</li> </ul>
14	日野口和子 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクチン接種が身近になり、町民は安堵と不安な思いでいるが対策や対応は</li> <li>コロナ禍での児童虐待の現状は</li> <li>学校の少人数学級の現状と対応は</li> <li>コロナ禍による町民サービスへの影響は</li> </ul>
15	田中正一 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲洋小学校・下田小学校の少子化対策は</li> <li>町の除雪対策は</li> <li>県の食用米新品種と町との連携は</li> </ul>

# 交通死亡事故再発防止対策は



馬場 正治 議員

## 交通死亡事故再発防止に 向け町の取り組みは

**問** 小中学生への安全指導は  
どのようなになっているのか。

**答** 交通安全関係機関の連携協力のもと、各小中学校の通学道路で街頭指導を行っているほか、学校も関係機関と連携し横断歩道の渡り方や交通安全教室、自転車安全教室等を実施している。  
また、日頃から登下校時の街頭指導、地域団体やPTAによる見守りや声掛け等が行われている。



▲死亡事故が発生した横断歩道

**問** 今年発生した木ノ下中男子生徒の死亡事故について、事故状況と原因に関して町はどのように認識しているのか。

**答** 把握できている状況や原因は新聞等で報道されている情報までである。  
事故当時、路面が凍結していたとは言え、信号機のある交差点で横断歩行中にトラックにはねられており、大変悲惨で痛ましく残念な思いである。亡くなられたご本人のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げます。

**問** 町の再発防止対策はどのようなになっているのか。

**答** これまでの取り組みについて一層の強化を図っていくとともに、今回の事故が夜間の横断歩道上で発生しているため、町内の通学道路を中心に横断歩道付近の街路灯状況を調査し、夜間暗くて運転者から歩行者が見えにくい箇所街路灯の設置を検討している。

また、学務課指導室の職員による通学路における登下校の指導を行っており、特に歩行者側が青信号で横断する際にも左右

の確認を徹底することを指導している。

**問** 日没以降ドライバーが生徒を発見しやすいよう、中学生全員に明るい色の反射材付きウインドブレーカーを支給し、下校時に必ず着用するよう指導する考えはないか。

**答** 町内の全中学校では、学校指定のリュックサック及び手提げバックにも反射材が付いているため、現時点で反射材付きのウインドブレーカーの支給は考えていない。



## 甲洋および下田小学校の 児童数減少対策は

**問** 甲洋、下田両学区への移住促進策に合わせ、統廃合も含めた抜本的な学区の見直しを検討すべきと思うが。

**答** 小学校の統廃合については、定住促進策の効果等の状況を考慮していきたい。今後さらに児童数の減少が続く、すべての学年で複式学級となり、それらの継続が想定される場合、保護者や関係者を含めて検討する必要があると考えている。

## スクールバスの運行内容 見直しについて問う

**問** 対象地区を限定している現状を見直し、通学路の数箇所に停車場所と発着時間を決め、路線バスと同じような運行にできないか。

**答** 町内の児童生徒数は小中学校8校で約2千人いる。全員を送迎するためには40人定員の中型バスで50台必要となることから現実的には難しいと考える。





# 新型コロナウイルスワクチン接種の方法は

平野 敏彦 議員

## 新型コロナウイルス ワクチンの接種方法は

**問** ワクチン接種の場所、及び接種スケジュールは。

**答** 接種場所として町内の医療機関に協力依頼し、可能な限り協力する旨の回答を頂いた。スケジュールは4月下旬の開始予定で、現在は接種計画を作成中。

**問** ワクチンの接種方法は個別か集団か。また、おいらせ病院の対応は。

**答** 接種方法は個別接種を基本とし、かかりつけ医など身近な医療機関で実施する。

おいらせ病院では基本的に、平日の午後をワクチン接種として、週に1日から2日程度の時間外診療で対応する予定。また、休日対応についても検討中。

**問** 町民への周知の方法は。特に高齢者に対する対応は。

**答** 対象となる町民にワクチン接種券と予約や相談のための電話番号、説明書及び予約票を送付する予定。高齢者への送付は4月上旬を予定。

**問** 接種順位は。

**答** 接種順位は、医療従事者、65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方、高齢者施設の従事者及び60〜64歳までの高齢者、それ以外の方の順と国から示されている。

**問** 特定疾患や基礎疾患のある方の把握方法と接種は。

**答** 特定疾患のある方は、保健所と連携し概ね把握しているが、基礎疾患のある方の把握が難しいため、一旦、全員に通知し、予約票の記載内容を確認の上、本人の同意と医師の判断により受けて頂く。

特定疾患のある方は、主治医と相談の上、接種の判断をして頂く。



**問** 接種を不安視する方や接種拒否者への対応は。

**答** 任意接種となっており、接種は強制ではないが、生命や健康を損なうリスク等があるため、接種に必要な情報を提供し理解を得ていきたい。

**問** 接種による医療事故の場合、責任の所在は。

**答** 国の予防接種法に基づく救済制度があり、医療費や障害年金等を受けられる。

**問** 感染拡大に伴い、DVや性暴力、雇用面で影響を受けていると聞けが、当町の女性や子どもの実情は。

**答** 全てを把握していないが、ひとり親世帯で休職となった方が1件あった。児童生徒については、休校中に教員が安全確認や学習状況の把握に努めており、今後も状況を確認しながら対応していく。

なお、国では収入が減少した「ひとり親世帯」への臨時特別給付金を8月と12月に支給している。

**問** 外国人就労者への接種方法は。

**答** 短期滞在の外国人を除き、町内居住の実態が認められる場合、町が接種券を発行する。



## 町男女共同参画プランの 進捗状況は

**問** 第5次男女共同参画基本計画が閣議決定された。町の計画が国の計画から3年遅れの理由は。

**答** 法律で上位計画を勘案し策定すると規定されていることから、県の計画は国の計画の1年後に、町の計画は県計画の2年後に策定しているため。

**問** 地域防災への女性の活躍の場は。

**答** 町防災会議に女性委員の登用と、避難所運営委員会等への参画及び視点を取り入れた。

**問** 役場女性職員の課長職への積極登用計画では、平成32(令和2)年度までに課長職2名、課長補佐職6名を登用するところの結果は。

**答** 女性職員の課長職登用はない。課長補佐職は6名。

**問** 町附属機関委員へ平成30年度まで40%の女性登用を目指すところの達成率は。

**答** 令和3年2月末時点で、28.7%。



# 浸水区域であるおいらせ病院の 移転建設について問う

木村 忠一 議員

## 消防団の名称の変更は

**問** おいらせ町は平成18年に合併し、15年経過したが消防団の名称はいまだに「おいらせ町下田第何分団」「おいらせ町百石第何分団」のままである。

**答** 伝統もあると思うが、出初式や三沢市、六戸町との合同観閲式を見ると名称の一体性がなく違和感を覚える。また、町のイメージを損なっていると思われる。

**問** おいらせ町消防団第何分団になることが望ましいと考えるが、できない理由は。

**答** 消防団組織の統合の経過は、合併時に、旧町区域を管轄する百石消防団と下田消防団の2つの消防団組織があり、その2つの消防団を統括する連合消防団長を1名配置していた。

その後、両消防団が調整を図り、平成22年においらせ町全域を管轄する「おいらせ町消防団」が組織され、1つの消防団組織へと再編された。

しかし、おいらせ町消防団の分団名は、下田第1分団や百石第1分団等、旧町名と分団番号をそのまま活かした名称とした。この背景として、近隣市町村

を調査し参考としたこと。また、地域にも慣れ親しんでいる名称の方が活動しやすく、有事の際の指揮命令等も的確に行われる考えもあった。

以上のように消防団組織としての統合調整は平成22年に終了、現在に至っている。



▲出初式の様子

## おいらせ病院の移転建設について問う

**問** おいらせ病院は、町八ザードマップによると津波や川の氾濫により浸水区域となっている。町民の生命を守るためにも1日も早いおいらせ病院の移転が必要と思われるが町の見解は。



▲おいらせ病院



▲病院隣を流れる奥入瀬川

**答** おいらせ病院は津波及び洪水の浸水想定区域に言まれているため、不測の事態が発生した場合、安全確保に課題があると認識している。また、建設後39年経過し、施設の老朽化による不具合等もあることから、自然災害を想定した地理的条件と合わせて、今後のおいらせ病院の方向性を検討したいと考える。

## おいらせ病院の庁舎の早期整備は

**問** おいらせ病院は浸水区域になっており、また、庁舎は本庁舎と分庁舎に分かれ、町民から利便性が良くないと言われている。さらに、職員の移動に係る事務の効率低下も考えられる。このことから病院も庁舎も早期整備が必要と考えるが、町の見解は。

**答** 自治体病院の役割は、地域において必要とされる医療の提供と、安心して医療を受けられる環境を担うことが重要である。それには、誰もが通院しやすい利便性が良い場所は有力な選択肢と認識している。

新庁舎整備については、合併時からの課題として早期整備に向け検討してきたが様々な課題があるため、なかなか前に進めない状況である。

しかし、合併に伴う有利な財源である合併特例債を活用できる期限までに、新庁舎整備が進むよう計画的に検討作業を進めていきたいと考えている。



▲2つに分かれている本庁舎(左)と分庁舎(右)



# 町民の利便性の向上、まちづくりのシンボル、行政組織の一元化、行財政運営の効率化のために早期統合庁舎整備を

澤上 勝 議員

## 新庁舎整備の進捗状況は

**問** 整備スケジュールは。

**答** 新庁舎整備は、多目的ドーム計画が凍結したこと、合併特例債が令和12年度までに延長されたため、総務課内部での検討のみとなっている。しかし、合併特例債を使える期限があり、遅くとも令和5年度までに候補地を決定し、計画策定から完成までの期間が6〜7年程度を要するため、令和6年度から計画策定を進めなければ合併特例債の活用が難しくなる。

**問** 規模・財源・建設場所は。

**答** 平成30年7月に両常任委員会へ報告している内容が現時点の予定で、新庁舎の規模は総務省起債基準で算定した庁舎床面積の5368㎡。財源は合併特例債と公共施設整備基金を活用。建設場所は3候補地で、「イオンモール下田周辺」、「イオンモール下田敷地内」、「本庁舎」の3案。

**問** 庁舎跡地の利用は。

**答** 今後の方針も現時点では何も決定していない。

**問** 併せて、将来のまちづくり構想と町の総合計画等は。

**答** 庁舎は、行政事務を司る施設で町のランドマークの一つであり、地域の核となる施設である。仮に、新庁舎を新たな場所とした場合、人の流れが変わり、金融や郵便、医療、福祉、交通等の生活を支える機能、定住人口や民間活力の誘導が図られ、現在の町の姿が変容する。新庁舎を核とした新たなまちづくりや土地利用をデザインするため、町の総合計画等を見直しが必要になると考えている。

## 多目的ドーム整備事業は

**問** 事業凍結解除の目安は。

**答** 令和元年度に多目的ドーム建設を凍結した理由は、建設事業費の大幅な増が見込まれる一方で、合併特例債等の有利な財源の確保が困難なこと、普通交付税の減額等により財政の厳しさが増している中で、建設後の財政状況の悪化が危惧されること、近年の建築経費が高騰していることであった。これらが解消される見通しが立てばと考えている。

## 児童・生徒の通学路の現状と対応は

**問** 通学路の横断歩道の整備と事故抑止力の指導は。

**答** 横断歩道の整備は、平成27年度から教育委員会、各小学校、三沢警察署、交通安全担当課、国道県道及び町道の管理者で組織する「おいらせ町通学路安全推進協議会」で毎年、意見交換や情報交換、各校からの要望を伝える等、対策を進めている。通学路の利用指導は、関係各所とも連携し指導を徹底する。



▲カラー舗装の歩道

## 木ノ下中学校の

### 体育館整備は

**問** 体育館の完成時期は。

**答** 令和3年度に地質・測量調査し、実施設計に入る。令和5

年度に造成工事、令和6年度に建物本体の工事に着手し、約1年程度で完成する予定。

## 新型コロナウイルス

### ワクチンの接種方法は

**問** 介護施設入所者・在宅の要介護者・病院入院中の方の接種方法は。

**答** 介護施設との相談になるが、配置の医師もしくは嘱託医等が施設に向いて接種すると思われる。在宅の要介護認定者は、集団接種が出来るか関係者と協議する。病院に入院中の方は、病院に相談して頂くが、病院の医師が接種すると思われる。

**問** ワクチン接種は個人で電話等による予約制か。

**答** 町が指定したコールセンターに電話し、接種する医療機関や接種日を事前予約して頂く。



# 新型コロナウイルスワクチンの

# 接種対策や対応は



日野口 和子 議員

ワクチン接種が身近になり、町民は安堵と不安な思いでいるが対策や対応は

**問** 新型、変異性も含めてコロナ感染症が蔓延する中、万全な接種対策が必要と考えるが接種準備等の予算は。

**答** ワクチン接種に係る事業費は、国庫補助金を財源としている。経費の内訳は、接種の問い合わせに係るコールセンターの業務委託料、接種券の印刷や封入作業等の業務委託料、予防接種管理システム改修業務委託料、予防接種対策室設置によるOA環境整備に係る業務委託料等を見込み予算化した。

**問** ワクチン接種はどのような手順で行うのか。

**答** 対象者へ接種案内通知（接種券と予診票）を送付。事前予約のためコールセンターに、接種したい医療機関と接種日を伝え、接種する。



**問** ワクチン接種は、病院中心か、または集団接種会場を設置するのか。

**答** 接種方法は、かかりつけ医など身近な医療機関での「個別接種」を基本として実施する。高齢者施設入所者や介護サービス利用者は集団接種での対応が可能か、また、医療機関の個別接種対応可能人数によっては補完的な形で集団接種が可能かどうかを検討している。



**問** 一人暮らしの高齢者の接種場所までの交通手段は。

**答** 身近な医療機関やかかりつけ医で接種する場合は、普段利用されている交通手段をご利用頂きたい。

**問** コロナ禍で失業者の増加も考えられるが、生活保護申請状況は。

**答** コロナ禍での生活保護の申請件数は18件あり、受給となった世帯は10件となった。コロナによる失業理由の申請はなかった。

コロナ禍での

児童虐待の現状は

**問** コロナ禍により児童虐待が増加しているとの報道があったが、当町の現状は。

**答** コロナの影響については不明だが、2月末現在で5件、前年度に対応した件数より2件増加している。

危険性の高いケースは関係機関と連携し、令和2年度は3件あったが終了した。

**問** 児童相談所への送致件数は。

**答** 令和2年度の送致件数は2月末時点で1件もない。

**問** どのような形で解決にすつたのか。

**答** 様々なパターンがあり、支援者不足や生活困窮等、複合的な要因による虐待ケースが多く、面接、助言指導、各種支援サービスの斡旋、児童相談所への送致及び関係機関の分担支援により終結に至っている。

学校の少人数学級の

現状と対応は

**問** 国では少人数学級への転換が議論されているが、当町の考えは。

**答** 国では、小学1年生で35人学級、2年生以上は40人学級としている。県では既に小学4年生まで35人学級としており、当町においても県の基準を既に満たしている。

コロナ禍による  
町民サービスへの影響は

**問** コロナ禍で一般財源の落ち込みによる町民サービスへの質の低下が懸念されるが。

**答** 令和2年当初予算の一般財源約67億8千万円に対し、令和3年度当初予算案の一般財源は約69億9千万円となり、2億1千万円程度の増加が見込まれる。要因として、町税は9千万円の減となるものの、地方交付税が1億3千万円の増、臨時財政対策債2億円の増が見込まれ、当面の一般財源が確保される見通しであることから、町民サービスの切り下げは考えていない。



# 少子高齢化が進む甲洋・下田 小学校区に居住環境の整備を



田中 正一 議員

## 甲洋小学校・下田小学校の 少子化対策は

**問** 両小学校地区の住宅用の土地  
利用問題は。

**答** 町では、都市計画区域や農業振興地域整備計画の見直しを進め、7月以降には両小学校区内に住宅用地が確保され良好な居住環境が整備されていくと考  
えています。

**問** 下田小学校地区の道幅が  
狭いため車のすれ違いが大変  
である。

**今後の整備計画は。**

**答** 現在は実施可能路線のうち、未舗装路線や大雨時の排水不良で冠水の恐れがある路線を優先し整備を行っている。限られた予算の中で、道幅が狭い道路を拡幅し整備することは難しい。



▲本村地区の道路

**問** 両小学校地区の企業誘致の  
計画は。

**答** 現時点で企業誘致計画の予定はない。

## 町の除雪対策は

**問** 本年は、降雪量が異常に多  
かったが、町の対応は。

**答** 12月と1月は例年になく積雪により、除雪費を12月に6千万円、2月に4千万円を増額し対応した。

除雪マニュアルに従い、降雪予報の情報収集及び現地観測を行った上で除雪の有無を判断し、明朝の通勤時間帯に交通障害が発生しないよう対応している。今期は強風の伴う大雪や吹き溜まりが発生しやすい傾向があり、対応に苦慮したが、今後も引き続き円滑かつ効果的な除雪に努めていきたい。

**問** 除雪は何センチ以上か。

**答** 町道の除雪は10cm以上の積雪又は降雪予想を基準とし、併せて、気象状況や現地確認を行い、「全町一斉除雪」、「幹線除雪」、「吹き溜まり除雪」を判断し実施している。

今期は強風を伴う大雪で視界不良による事故の危険性があったため、除雪作業が円滑に行えなかった。また、積雪が10cm以下でも予想を超える吹き溜まりが発生する等、皆様にはご不便をおかけした。現在は吹き溜まり箇所現地確認を強化し対応している。



▲町の除雪車

## 県の食用米新品種と 町との連携は

**問** 2023年度デビューの新品種「青系196号」について  
今後の町の対応は。

**答** 水稻新品種「青系196号」は、県産ブランド米「青天の霹靂」「まっしげん」「つがるロマ」に続く、県産の主力品種の候補として開発され、県の認定品種に指定された。その食味は良好で柔らかく粘りが強くまた、胸割米発生率が低く倒伏しにくい等の特徴により、栽培しやすい

い品種として県が2023年度の市場デビューを目指している。また、県はシェアを高めることで生産者の所得安定につなげるため、生産指導体制の整備や宣伝・販売対策を展開していく予定である。

主食用米は、「コロナ禍により2021年産米の生産数量目標の減少等、一層厳しさを増す見込みであるが、町はこれまで以上に「買ってもらえる米づくり」を推進するため県の動向を注視し、関係機関と連携し対応していく。

**問** 県は県内各地で栽培試験  
を行うとあるが、町への情報は。

**答** 水稻新品種「青系196号」は、平成30年度から県産業技術センター農林総合研究所で県南地域も含め県内9か所で栽培試験が行われ県の認定品種に指定された。

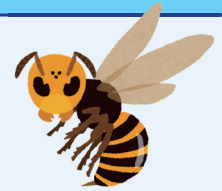
今後市場デビューに向け、引き続き栽培試験が行われると聞いている。





# 第1回議員全員協議会

2月18日(木)に開催され、8件について協議しました。  
今回は1件をピックアップして掲載します。



## ◆令和2年度 事務事業評価の結果報告

### 【趣旨】

少子高齢化、人口減少等、行政課題への対応、行政需要の複雑多様化等、業務量は増加する一方で、地方財政の状況は厳しさを増している。ヒト、モノ、カネの行政資源には限りがある。変化に対応しつつ、持続可能なまちづくりを推進していくには『事業の選択と集中』が必要であるため、令和元年度に引き続き事務事業評価を実施。

### 【実施概要】

- ・全1,339事業中、令和2年度は48事業を選定し評価
- ・1次評価(所管課)⇒2次評価(内部評価:三役等)⇒外部評価(委員会)⇒外郭団体と調整⇒総合評価(方針決定)

### 【評価結果・意見】

外部評価で妥当でないとした事業(1件)

#### 2次評価(内部評価:三役等)結果

**スズメ蜂駆除・対策事業:**住民の安全な生活を確保する目的で行政サービスしてきたが、近年の件数と委託料の増及び、周辺市町村では私有地での駆除は自己責任としている等を踏まえ、スズメ蜂駆除等の委託事業を廃止する。

#### 外部評価(委員会)結果

私有地は自己責任が基本であるが、住民サービスの観点から町で対応をお願いしたい。住民負担については、段階的な補助措置等を検討して頂きたい。

### 【評価実施による効果】

48事業の直接・間接コスト(人件費換算)  
5年間の削減見込額約1,360万円

A評価	継続又は拡充	32件
B評価	改善継続	8件
C評価	規模・内容見直し、検討	3件
D評価	抜本的見直し検討	5件



### 【質疑・意見等】

**問 松林義光議員:**町が町民に防護服を貸与しても、知識や経験もないためスズメ蜂の巣を駆除するのは難しいと思われる。財政が厳しいのなら半額でも助成し、継続すべきでは。

**答 個人の数地内の事については個人で駆除業者やシルバー人材センター等に依頼し、駆除して頂きたい。**

**問 佐々木勝議員:**昨年、洋光台の住宅地(通学路)に子どもたちがスズメ蜂の巣を見つけ、石を投げていた。万が一、その石が巣に当たったら命を落とす危険性もあった。子どもたちの安全を守るとともに定住促進にも繋がると思うため、事業継続して頂きたい。

**答 通学路の安全対策は子どもの生命を守る重要事項と認識している。総合評価に記載のとおり、公共施設及び通学路(付近の私有地含む)のスズメ蜂の駆除は必要なことから、対策を検討し、マニュアルを作成することとしている。**

**問 馬場正治議員:**スズメ蜂の巣の駆除事業の廃止は、安全安心なまちづくりという考え方に逆行する。スズメ蜂は生き物で何処にでも巣を作るし、通行人を襲う。その危険性に対し、個人の責任で対処するのはいかがなものか。また、年々増加傾向の駆除件数と費用は。

**答 確かにその家に勝手に巣が作られてしまい理不尽な所もあるが、自己負担が基本である。駆除件数は、平成30年度が121件で約110万円、令和元年度が137件で約121万円。シルバー人材センターへの駆除委託費用は1件につき9,640円、薬剤散布のみは4,820円となっている。**

**問 西館芳信議員:**スズメ蜂は公共の安全を脅かしているもので、個人の生命、身体を守ることは、行政の最も基本的な事項である。

**答 町長:**見直すよう指示する。

## 第2回定例会のお知らせ

令和3年6月3日(木)午前10時から

おいらせ町議会では、

みなさんの傍聴をお待ちしています。

傍聴の際はマスクの着用をお願いします。

●問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)

●電話 0178(56)2112

## “スズメ蜂”と上手に付き合おう

スズメ蜂は攻撃性が強く、巣を守るために人を襲うこともありますが、花の受粉や草木の害虫を食べてくれる益虫でもあります。人が近づかない場所に巣がある場合は、そのまま放置することも可能です。

また、巣は春先に、低木の枝や土の中、生垣や軒先等に作られ、毎年、同じ場所に作られやすい習性があるようです。

家の軒先等に毎年できてしまうような場合は、巣作りが始まる前の春先にハチ駆除用殺虫剤をかけておくと巣が作られにくくなるようなのでご家庭での対策をお願いします。



▲春先のスズメ蜂の巣



いよいよワクチン接種が始まりますが「かからない、うつさない」を言葉に、一日も早く平穏な日が戻ることを願ってやみません。

広報委員 木村 忠一

町当局が令和3年度から廃止とした「スズメ蜂の巣駆除事業」を継続するよう全員協議会で求め、当初予算で復活継続することができました。今後も町民への必要な行政サービスを提供しつつ、事業の取捨選択を行い、持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症により防災無線での議会開催の呼びかけが無くなってから早1年が経ちました。そのため議会傍聴者は少なくなりましたが、相変わらず当町議会は3月定例会も白熱した議論が交わされました。

編集後記